

2019年8月吉日

薬剤（部・科）長、薬局長 各位

宮城県病院薬剤師会 会長 石澤 文章
業務委員会 委員長 尾形 勉

宮城県病院薬剤師会会員向けセミナーの開催について

謹啓

時下、先生方におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。また、平素より宮城県病院薬剤師会の活動にご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、この度、東北大学東北メディカル・メガバンク機構と共催で下記の通り、セミナーを開催することとなりました。ご多忙中とは存じますが、万障お繰り合わせの上、ご出席賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

謹白

記

日時：2019年9月13日（金）午後7時～8時30分

会場：仙台市戦災復興記念館 5F 会議室

仙台市青葉区大町 2-12-1 電話 022-263-6931

「ゲノム情報を活用した未来型医療と個別化薬物療法の最前線」

[演者]

東北大学大学院薬学研究科生活習慣病治療薬学分野 准教授 平塚 真弘 先生

東北大学東北メディカル・メガバンク機構 特任教授 長神 風二 先生

<演者の先生から>

これまで、多くの研究者や薬剤師が患者個々の「薬剤反応性」と「ゲノム配列」の関連性を精力的に研究してきました。いくつかの医薬品に関しては、その関連性が明らかになり、ゲノム情報を活用した未来型の個別化薬物療法が可能なものも出てきています。このような状況の中で、多くの薬剤師は学生時代に講義では習わなかった「ファーマコゲノミクス (PGx)」という新しい概念を日常業務の中で意識せざるを得ない状況になっているのかもしれない。特に、東北メディカル・メガバンク機構の遺伝情報回付事業では、臨床現場に情報回付された内容を持参した患者が来院する可能性があります。そのような場合の対応方法なども含め、PGx 研究の最前線を紹介します。

単位：日本病院薬学認定薬剤師制度 領域Ⅱ-6 1単位（申請中）

以上